

職場の不安を打ち消す 対人能力とPCスキルの高さ

発達障がい者雇用の不安を打ち消した人柄・コミュニケーション能力・PCスキル。特性を活かした真面目さだけでなく弱みを感じさせない素直さ。信頼できる人材を雇用でき、安定して続けていられるのは、本人の努力はもちろん、職場の理解、障がい者雇用のための支援機関があったからです。

豊田市役所



栗田さん

【広汎性発達障がい】

山口さん

【アスペルガー症候群】



就労移行は、栗田さんに既に有ったPCスキルという強みを伸ばし、弱みも克服できるように指導

誰もが驚いた高いスキルと真面目な仕事ぶり

発達障がいがありながら、市役所で働く栗田さんと山口さん。二人の仕事は、人事課でパソコンを使用するデータの入力、文書発送事務、書類整理です。公的な情報を扱う正確さの必要な業務のため、初めは確実に、かつ二人一組での作業でした。それでも二人の真面目な仕事が評価され、契約期間は半年の短期から更新されました。さらに、他の部署の応援業務もこなせるようになり、今では他部署でもそれぞれが一人で作業するほど信頼されています。

配属されてすぐに上司や同僚の皆さんを驚かせたのが、二人のパソコンに関する知識でした。特にエクセル・ワードに関する知識は、現場の職員以上に詳しく、「パソコンで分からないことがあれば、栗田さん、山口さんに聞こう」という雰囲気になっています。

不安を打ち消したコミュニケーション力の理由

一般的に発達障がい者はコミュニケーションを苦手としている場合が多く、就労の際もそれが壁となるのではないかと、というイメージを持たれています。豊田市役所も例外ではなく、初めての発達障がい者の雇用に不安を感じていました。

ところが、二人のコミュニケーションスキルは十分に合格といえるレベル。確かに得意とは言えませんが、就労に必要な最低限のコミュニケーションスキルは身につけていました。挨拶・報連相などはもちろんのこと、敬語も使え、休憩中など仕事以外の会話もきちんと出来ました。そのうえ、発達障がい者特有の真面目さは、健常者にも劣らない強みとして現場の力になっています。

強いこだわりが発達障がいの弱点とも言われますが、二人は上司や先輩の言葉を素直に取り入れ、教えられたことを次々に吸収しているとか。就労移行支援の訓練が、職場に溶け込むのに一役買っているようです。



活用した支援制度・機関

ハローワーク豊田



障害者就労移行支援事業所

障害者就労・生活支援センター

障がい者を職場の力に変える支援機関の役割

「発達障がいの方の雇用には、正直不安がありましたが、今では全く解消されています」と人事課担当者は今回の雇用を振り返ります。

市役所では、これまで身体障がい者の雇用はありましたが、精神障がい者の雇用は初めてだったため、体調・コミュニケーション・作業能力、また、雇用後のフォロー体制等の不安がありました。しかし、実際には想像より高いスキルを持った人材を雇用することができました。これは、ただ運が良かっただけでなく、そこには支援機関の活動も関わっていました。

前出の就労移行支援事業所では、PCスキルなど就職に直結する技術の学習はもちろん、職場定着に必要な、自主性やコミュニケーション能力の習得も大切にしています。例えば、地域のイベントに積極的に参加し、運営スタッフやお客さんとのやりとりから人の関わりを学んだり、自らイベントを企画・運営することもあります。

また、障がいを持つ求職者の中には、職種や条件にこだわって就職に踏み切れない方もいますが、幅広い選択肢を提示し視野を広げさせて、少しでも多くの方を最適な環境へ就職させる事も就労移行支援事業所の役割のひとつとなっています。栗田さんの場合は、CADを使った業務から事務職へと希望職種を広げたことが今回の就職に結びつきました。

障がい者、特に発達障がい者の中には健常者以上の飛び抜けた技能を持つ方も多く、支援機関の適切な援助を受ければ、業務に適したスキルを持った人材を見つけ出すのは難しく無いのではないのでしょうか。



企業をサポートする、専門知識と豊かな経験



栗田さんと山口さんの活躍によって、市役所も障がい者の雇用にさらに前向きになっています。現場も障がい者と一緒に働くことに理解と配慮を深めています。はじめから適切な条件で雇用して活躍してもらうためには、専門的知識や経験が必要ですが、企業は経営や事業運営のプロではあっても障がい者雇用に関しては専門外であり、そこに割くことのできる時間も人員も限られています。そんなときに障がい者雇用に一緒に取り組んでくれるのが地域の支援機関。作業の切出しによる業務の確立から、人材探し・雇用・定着までサポート、公的機関であるため、費用はかかりません。まずは地域にどんな機関があり、どんな支援が受けられるのかを知ることから始めてください。市役所の事例のように、雇用する企業に大きな利益をもたらすことになるかもしれません。

現場も障がい者と一緒に働くことに理解と配慮を深めています。はじめから適切な条件で雇用して活躍してもらうためには、専門的知識や経験が必要ですが、企業は経営や事業運営のプロではあっても障がい者雇用に関しては専門外であり、そこに割くことのできる時間も人員も限られています。そんなときに障がい者雇用に一緒に取り組んでくれるのが地域の支援機関。作業の切出しによる業務の確立から、人材探し・雇用・定着までサポート、公的機関であるため、費用はかかりません。まずは地域にどんな機関があり、どんな支援が受けられるのかを知ることから始めてください。市役所の事例のように、雇用する企業に大きな利益をもたらすことになるかもしれません。

豊田市役所

所在地 豊田市西町3丁目60番地
電話番号 0565-31-1212
職員数 3,257人 うち障がい者 44人

